

発言者	内容
司会（会長）	東京書籍について、いかがか。
委員	1年生のはじめの単元は、段階を踏んでいてとてもよい。書き込みができるので指導しやすい。児童がつまずきやすい時計の読み方の学習では、短針は数字の間の小さい方を読むことがしいかり説明されており、丁寧でよい。 1年生の教科書が大判である点はよくない。
委員	内容がバランスよく構成されている点がよい。学習の流れがよくわかり、児童の主體的・対話的で深い学びにつなげられる紙面の工夫が見られる。
委員	レイアウト、文字の大きさなど、見やすくてよい。一つ一つの単元で押さえるポイントがわかりやすい。また、情報量がちょうどよい。
司会（会長）	大日本図書についてはいかがか。
委員	3、4、5年は上・下分冊になっておらず、重くて、持ち運びが大変である。1冊にまとめると、学びの足跡が見えるという利点はあるが、振り返りをする必要性は少なく、重さに配慮して分冊にするほうがよい。
委員	1年生の教科書の写真が見づらい。
委員	図が小さくて多いため、雑多な感じがある。
委員	絵と吹き出しの説明がわかりにくい部分がある。
委員	ページの端まで、文字が詰まっている感じがして読みづらい。
司会（会長）	学校図書について、いかがか。
委員	6年以外は分冊である。発展問題である「深めよう」があり、活用力を伸ばす工夫がある。
委員	時計の単元では、短針の読み方の説明がわかりにくい。短針が数字の間にある場合、どちらを読むのかを明示していない。また、「なんばんめ」の単元の学習時期が遅い。入学して早い時期に、数え方を学習することは他教科の学習時の言葉の使用の面からも大切であるため、単元の並び方に難があると感じる。
委員	大判で読みやすい点はよい。

司会（会長）	教育出版について、いかがか。
委員	算数で学んだことを、日常生活につなげられる工夫がされている点がよい。
委員	少し雑多な印象である。
委員	漫画が多用されていることの良し悪しは考えるポイントであるが、児童にとっては、身近に感じるのではないか。
委員	レイアウト、文字の大きさが読みやすい。
司会（会長）	啓林館について、いかがか。
委員	単元の順序を、よく考えている。4年の「大きな数」は他社と異なり、4番目に出てくる。「大きな数」は、児童の発達段階を考えると難しく、遅めに学ぶのがちょうどよいと思う。バランスよくできている。
委員	補充問題が多く、発展的な問題もしっかりとある。
委員	わくわく算数広場は児童のやる気を高められる。
委員	レイアウト、文字の大きさ、情報量、問題量がちょうどよい。
司会（会長）	日本文教出版について、いかがか。
委員	文字の大きさ、字間にやや難がある。字間がつまっている印象を受ける。
委員	フォントの統一性がないのが気になる。それで、字間も詰まったように感じるのではないか。
委員	字間が見づらい。
委員	字が小さく、雑多で見にくい印象である。
司会（会長）	本委員会としては、啓林館を第一に、東書を第二に推薦する